



NPO法人 横浜金沢文化協会

2020年9月号
No. 50
(春秋発行)

Homepage <https://www.yk-bunka.com> E-Mail yokokana.bunka@gmail.com



2018年度 金沢区民文化祭 迎え花 (金沢華道会) P.4,5 に金沢華道会の活動を紹介

目次	■行事予告 ~ ぜひご参加を! - 文化講演会「岡倉天心」 - 区民コンサート (P.2)
	■行事報告・解説 - 俳句・短歌ポスト表彰 (P.3) - 畠山重保公顕彰墓参会 (P.6)
	■団体会員の紹介 - 金沢華道会 (P.4,5) ■会員状況、行事予定 (P.7,8)

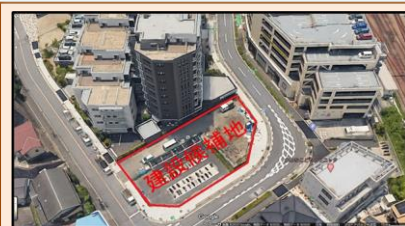


新理事長就任ご挨拶

特定非営利活動法人 横浜金沢文化協会
理事長 国吉一夫

橘川和夫様の後任として新理事長に就任しました国吉一夫です。当協会は、発足以来4半世紀もの間、当金沢の地域文化振興と歴史的な文化財の保全等に確かな足跡を残して参りました。これは文化の拡がり発展を願い続けてこられた多くの先人のご尽力の結晶と考えています。

昨今、新型コロナウイルスによって文化的な生活の中断が余儀なくされていますが、人それぞれの生命をお互いに尊重し、より豊かであるべき多様な文化環境を充実させていくことは極めて重大です。今こそ、人それぞれが楽しみ時間を仲間と共有しながら、多様で魅力ある文化環境を創り上げていくことは、意義深いことと思います。これを心に皆様と知恵を出し合いながら、金沢の文化発展のために力を尽くしてまいります。



民文化活動拠点の拡充に向けて大きく前進

当協会が設立当初から悲願としてきた区民文化センター整備の要望書が9月11日に町内会連合会、県・市会議員、当協会の連名で横浜市長宛に提出されました。横浜市内で区民文化センターが実質的に無いのは金沢区だけで、公会堂が整備され、ホールとしての施設は充実したものの、絵画や書、生け花などを展示するギャラリーや音響に配慮した音楽練習室を備えた文化施設はありません。こうした中で区民一丸となった区民文化センター整備に向けた動きが本格化し、建設候補地としては金沢八景駅近くの市有地が有力とされています。

当協会としては、区民文化活動拠点の整備拡充に向けて、今後とも全力を注いでまいります。

これからの文化協会主催行事

新型コロナの終息を期待!! 昨年度に続く「講演会」と「コンサート」を計画

第2回文化講演会「岡倉天心」(2020.12.6)

シリーズ2年目の第2回文化講演会では「岡倉天心」を取り上げます。岡倉天心は横浜の本町五丁目(現・本町一丁目、横浜開港記念会館付近)に生まれ、明治以降における日本美術の概念成立に寄与しました。また、茶道にも造詣が深く、英語で書かれた「茶の本」を執筆・出版しました。

講師は岡倉天心研究で知られた千葉信行氏です。

なお、当日のご来場者には当協会会員の「金沢茶道会」による呈茶のサービスを予定しています。




文化講演会「岡倉天心」予告

～近代日本画の創出と日本文化を世界に発信した文人・思想家～


開催日時: 2020.12.6(日)12:30開場 講演 14:00~15:30
 会場: 横浜市金沢公会堂講堂
 募集人員: 大人100名(状況により最大250名)
 入場料: 大人500円(資料代)・小中学生無料招待

講師: 岡倉天心市民研究会 事務局長
 元神奈川新聞社代表取締役専務 **千葉 信行氏**



茶道にも造詣が深かった天心!

到着25名~50名の皆様に、当会会員
金沢茶道会様による呈茶のサービスを予定しております。



主催: NPO法人 横浜金沢文化協会
 後援: 横浜市金沢区役所・神奈川新聞社・はまかせ新聞社

(注) 新型コロナの影響で詳細は未定です。尚、募集人員が流動的なため、整理券を発行予定です。
 お問合せ: 045-785-6722 坂(ぼん)

「かねさわ区民コンサート Vol. 2」(2021.2.27)

2回目となる「かねさわ区民コンサート Vol. 2」はバイオリンとピアノの共演です。金沢区制70周年記念コンサート(金沢公会堂)にも出演のバイオリン奏者 Bohemianist MasahiRo<ボヘミアニスト マサヒロ>さんと金沢区在住の当協会会員で、ピアノ演奏・指導、合唱指導、舞台監修などで広く活躍の齋藤真理恵さんのピアノ演奏によるスペシャルライブです。

第2回

NPO法人 横浜金沢文化協会主催
後援: 横浜市金沢区役所 他

かねさわ区民コンサート

Bohemianist MasahiRo &
齋藤 真理恵 スペシャル ライブ
(ピアノ)

予告



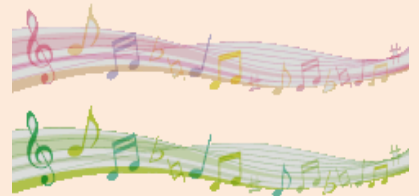

日時: 2021.2.27(土) 開場13:00開演14:00
 会場: 横浜市金沢公会堂講堂
 募集人員: 250名(会員・一般200名、小中学生50名招待)
 入場料: 一般2,000円 会員1500円(予定)

(注) 新型コロナの関係で、詳細は固まり次第お知らせいたします。 お問合せ: 045-771-8783 (宮崎)

プログラム一部紹介

ハンガリー舞曲第5番
 チャルダッシュ
 ツィゴイネルワイゼン 他

ハンガリー・ジプシー音楽を始め、クラシック、ジャズの他 Bohemianist MasahiRo オリジナル作品を含むプログラムをピアノ 齋藤 真理恵との息の合ったデュオによるライブ演奏でたっぷりお楽しみ下さい。



なお、両行事ともに参加募集の詳細は未定です。決定次第、ポスターやチラシ、当協会のホームページでお知らせします。新型コロナ感染防止対策で社会的ディスタンスを保てる募集人数・募集方法となります。

赤ひげ小川笙船法要会

皆様に愛されて創業71周年!!
 “おいしい和菓子の店”

御菓子司 横浜 紅谷

京急富岡駅前本店 TEL/FAX 772-3340
 京急能見台駅前支店 TEL/FAX 370-8618

白山
東光禪寺
 www.tokozenji.or.jp

俳句・短歌ポスト表彰

コロナ禍で異例の23回目の表彰を実施

「俳句・短歌ポスト」とは

「俳句・短歌ポスト」が金沢地区センター（写真1）などの区内10箇所（表1）に設置されているのをご存知でしょうか。俳句と短歌の愛好者ならどなたでも（住所や勤め先、通学先が金沢区内であることは不問）金沢区の“花鳥風月”を詠い、投稿できます。年2回（春と秋）集計を行い、優秀作品を選定して金沢区長賞など（表2）の表彰を行っています。



写真1 金沢地区センターのポスト

表1 ポストの設置場所一覧

1	金沢地区センター
2	釜利谷地区センター
3	富岡並木地区センター
4	能見台地区センター
5	六浦地区センター
6	称名寺仁王門脇
7	瀬戸神社社務所
8	富岡八幡宮社務所
9	金沢自然公園ののほな館
10	野島公園公園管理事務所

表2 表彰の一覧

1	横浜市金沢区長賞
2	横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員長賞
3	横浜金沢文化協会理事長賞
4	横浜金沢観光協会賞
5	横浜金沢シティガイド協会理事長賞

「俳句・短歌ポスト表彰制度」の始まり

この「俳句・短歌ポスト表彰制度」は平成20年の「金沢区制60周年記念事業」として当文化協会の会員有志が提案したもので、類似の事例は有りましたが、対象に「短歌」を加えたものは初めてでした。

記念事業としての採択が決まり、提案者をメンバーとした「横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会」が結成され、直ちに手作りのポストを制作。平成20年9月に区内の地区センター・寺社などにポストを設置、募集チラシを配架し、投稿の受付を開始しました。

令和2年春の第23回目の表彰

それから11年。第23回表彰を迎えた今春は俳句117句、短歌21首（令和元年9月1日～2年2月29日の投稿）。その中から金沢区の花鳥風月を詠み上げた俳句10句・短歌5首を選定。その代表となる俳句2区と短歌1首を図1に示します。また、選定の全作品は当協会のホームページに掲載されています。

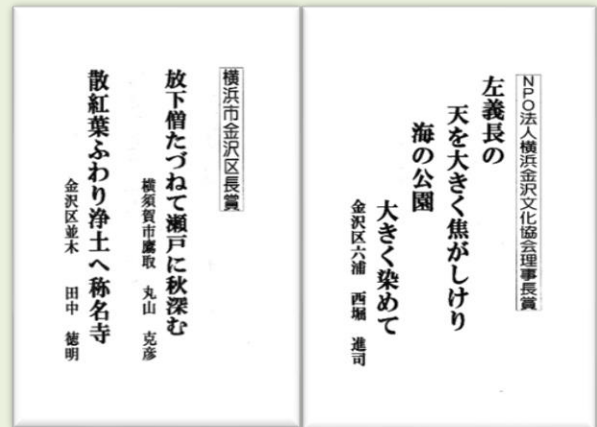


図1 区長賞の俳句2句と文化協会賞の短歌1首

しかし昨今の新型コロナ感染防止のため、表彰式は中止。額に入れた表彰状を実行委員長が自宅に届けるという異例の表彰となりました。意外性もあり、表彰状の宅配受領は受賞者に大変喜ばれました。

皆様もことばに今の思いを込めてお気軽に詠んで頂き、ぜひご投稿ください。大歓迎です。作品の応募用紙と投稿要領はポストに備え付けてあります。

金沢華道会

生け花は、季節の植物を器に生けて楽しむ日本人の感性が生み出し、芸術までにした典型的な日本文化です。



祝 金沢区制60周年

金沢華道会は、昭和24年(1949年)4月、会員50人で発足しました。全員華道教授の資格を持つ方々です。70周年を経た今、会員数は減少していますが、秋には金沢区民文化祭「華道展」を開催し、また「いけばな体験」を楽しんでいただいています。



金沢地区センター
正面ホールに毎週生け花を飾り、区民の皆さんに身近に生け花を楽しんでいただいています。



川合玉堂別邸 平成18年4月から第1土曜日に開園していた同邸の床の間に、季節の花を生けてきました。



金沢区制70周年記念 「色鉛筆植物画と生け花展」



色鉛筆画家 川浪舎人氏作の植物画70種類と、その画中の植物を生けました。植物画の前に展示する草花は、その殆どを金沢区内で採集したものです。緑多い金沢区だからできた合同展です。(中央には秋の七草を生けました)



2018.09.23

画中の植物を様々な場所で探し、生け花の作品に仕上げた仲間達

問合せ▶金沢華道会 会長
☎045-782-0365

県立金沢文庫
県立金沢文庫は「中世の歴史博物館」です。鎌倉時代、北条実時が造った武家の文庫である金沢文庫の資料を多く所蔵しています。



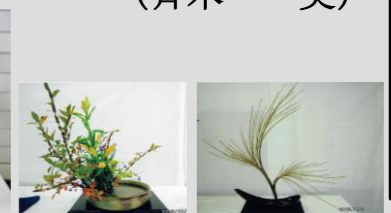
15年以上にわたり、毎週エントランスホールに花を生け続け、神奈川県教育長から感謝状をいただきました。



八景島水族館にも花を生けました。「花と魚たち」



金沢華道会は、生け花という素晴らしい日本の伝統文化を伝えたく、日々活動しています。金沢華道会に入会し、活動を支えてくださる方、また生け花を学びたいと思われる方、大歓迎です。
(斉木 一美)



会員所属流派

- 池坊
- 小原流
- 古流松應会
- 嵯峨御流
- 尚山古流
- 松嶺古流
- 宣法未生流
- 草月流

畠山重保公顕彰墓参会

畠山重保公命日の6月22日(月)、10時から当協会主催事業「畠山重保公顕彰墓参会」を禅林寺境外廟所にて実施しました。今年新型コロナウイルス感染防止のため開催が危ぶまれましたが、関係者のご尽力、ご協力により例年通り実施することが出来ました。また墓参会に向けては、6月13日(土)に国吉理事長、坂副理事長はじめ当協会有志の方々が草取り、清掃を行って下さり、きれいになった廟所でこの日を迎えることが出来ました。

墓参会は、当協会理事長の挨拶に始まり、禅林寺菊地住職のお話を拝聴、その後東光禅寺小澤住職のもと参加者による般若心教読経、焼香と予定通り終了しました。参加者は当協会会員、檀家、町内の方々の他、昨年と同じ鎌倉在住の方1名を含め13名でした。

重保公については、歴史上あまり多くは残されていませんが、今後歴史研究者による新たな事実発見の可能性があるというお話を聞きながら、しばし鎌倉時代の出来事に思いをはせるひと時となりました。(内園 一廣)



畠山重忠・重保

畠山氏は、阪東八平氏(桓武平氏流の平良文を祖とする)の一族・秩父重弘の子・秩父重能が武蔵国男衾郡畠山郷(現埼玉県深谷市畠山)に所領を得て畠山姓を称したことに始まります。重能の子・畠山重忠は、当初平家側に与し、源頼朝の挙兵に賛同した三浦氏を攻め、衣笠合戦において、母方の祖父・三浦大介義明を討ち取りました(享年89)。江戸時代、物乞いや漁師たちの口上・祝詞に、目出度いとして語り継がれていた『鶴は千年、亀は万年、三浦の大介百六つ』の義明です。

その後、畠山重忠は江戸氏・河越氏とともに源頼朝に臣従しました。重忠は、文武両道に秀で、鶴越の逆落としては愛馬を背負って坂を駆け下りたという大力の逸話が残されています。また、義経の愛妾・静御前が鶴岡八幡宮で白拍子の舞を披露した時には銅拍子を打って伴奏したといわれ、音楽にも通じていたようです。

畠山重保は、母が北条時政(鎌倉幕府初代執権)の娘で、重忠の嫡子として扱われていました。三代将軍・源実朝に仕えていましたが、時政の後妻・牧の方の娘婿・平賀朝雅と酒席で争い確執が生じ、牧の方は、時政に畠山氏を討つよう求めました。

重保は、元久2年(1205)6月22日、謀反を企てたという疑いで、時政の命を受けた三浦義村(義明の孫)に由比ヶ浜で討たれました。

その頃、「鎌倉に異変あり」と嘘の呼び出しで鎌倉へ向かっていた重忠一行・134騎は、横浜市旭区二俣川で北条義時の大軍に行く手を阻まれ、奮戦するも全軍討死をしてしまったと伝えています(6月23日・享年42)。これにより、平姓畠山氏は途絶えてしまいます。

畠山氏と釜利谷

畠山氏は、強力な鍛冶集団を持っていたといわれています。武器や農具を作るうえで欠かせない存在です。釜利谷では、かつて砂鉄が取れたと伝えられていますので、畠山氏もこの辺りに所領を持っていたと考えられます。噂話の域を出ませんが、鉄を溶かすために火を起こす鞆を吹くため、重忠が片目を痛めていたとか、以前、3月18日に供養が行われたのは鍛冶職人の事始めの日だったからとも言われています。

由比ヶ浜で誅殺された重保の墓として鶴岡八幡宮の一の鳥居付近に宝篋印塔が立てられています。

東光禅寺は、鎌倉宮付近にあった東光寺(開基・畠山重忠)が前身だと伝えられています。山門前に「畠山重忠の墓」(供養塔)がまつられ、重忠が愛用したという馬具が残されています。

禅林寺は、かなり大きな寺領を所有していて「畠山重保公廟所」付近も領していました。現在でも境外墓地として「廟所」を守っています。「廟所」には五輪塔が立てられています。南北朝時代のものだといわれていますが、かなり摩耗していた為、平成5年(1993)、禅林寺創建500年記念事業の際に残存部と均整のとれた地輪が復元されました。釜利谷には、「不穏な動きを察した重保公が、釜利谷まで逃れてこの付近の山中で自刃した」という伝承が残されています。六郎橋の近くのケアプラザ辺りに、畠山氏或は家臣の屋敷があったといわれ、裏山には数基の石碑が残されていました。

「畠山重保公廟所」は、畠山氏の子孫の方、地元の有志の方と禅林寺で清掃活動・墓参で守ってこられました。平成24年(2012)から横浜金沢文化協会が主導して設立した「畠山重保公廟所保存会」がこの任に当たっています。



医療法人社団 景翠会
金沢病院

学校法人新栄学園 認定こども園
金沢白百合幼稚園



Bakery House AOKI

会員状況 (令和2年9月1日現在)

個人会員

No	部 門	人数
1	総合文化	31
2	絵 画	5
3	朗 読	1
4	書 道	2
5	写 真	8
6	文 芸	7
7	歴 史	8
8	器 楽	2
9	合 唱	19
10	邦 楽	5
12	吟剣詩舞	2
13	茶 道	13
14	邦 舞	1
15	一般文化	0
16	児童文化	1
17	民 謡	3
18	声 楽	2
19	華 道	4
	合 計	115

団体会員

No	部 門	団 体 名
1	絵 画	横浜市金沢区美術協会
2	書 道	金沢区書道協会
3	文 芸	金沢区民歌人会
4		金沢俳句会
5	歴 史	金沢区の文学と歴史愛好会
6		NPO 法人横濱金澤沔が' 協会
7		NPO 法人野口英世よこはま顕彰会
8		南国忌の会
9	器 楽	金沢吹奏楽団
10	合 唱	金沢区音楽のつどい
11	洋 楽	かなざわクラシック・ミューズの森
12	邦 楽	琴アンサンブル金沢桐韻会
13		金沢三曲会
14	吟剣詩舞	金沢区吟剣詩舞道連盟
15	華 道	金沢華道会
16	茶 道	金沢茶道会
17		金沢煎茶の会 (旧・金沢煎茶道会)
18	邦 舞	金沢区日本舞踊連盟
19	武 道	居合古武道実行委員会
20	一 般	生涯現役かなざわ会
21		NPO 法人らしく並木
22	民 謡	金沢民謡協会
23	囲 碁	金沢区囲碁連盟
24	総 合	金沢ふれあい文化祭
25		金沢文化芸術祭実行委員会

賛助会員

No	法人 又は 個人の名称
1	一般社団法人 金沢区三師会
2	医療法人社団景翠会 金沢病院グループ
3	医療法人社団太陽会 鳥居泌尿器科・内科
4	御菓子司 横浜紅谷
5	植周造園株式会社
6	赤ひげ小川笙船法要会
7	芦辺 久美子
8	学校法人 新栄学園 認定こども園 金沢白百合幼稚園
9	白山 東光禅寺
10	有限会社 オッターブルー
11	有限会社 清水薬局
12	竹嵩山 禅林寺
13	株式会社 はまかぜ新聞社

顧問

No	氏 名	No	氏 名
1	松本 純	8	小幡 正雄
2	篠原 豪	9	黒川 澄夫
3	大村 悠	10	木村 久義
4	松崎 淳	11	片岡 順一
5	黒川 勝	12	高井 祿郎
6	高橋 徳美	13	佐野 和史
7	竹野内 猛	14	鈴木 節夫
8	谷田部 孝一		

文化協会行事予定(令和2年10月～令和3年3月 日程順)

多くの行事は開催日が近づくにつれて文化協会のホームページに詳細内容が掲載されます。また、前回の様子などもあります。

行 事 名	予 定 日	実 施 場 所	問 合 先
金沢民謡協会 民謡のつどい	10月4日(日)	金沢公会堂	045-785-3506
金沢茶道会 旧伊藤博文金沢別邸茶会	10月11日(日)	旧伊藤博文金沢別邸	045-788-1919
野口英世よこはま顕彰会 講演とシンポジウム「一号停留所保存」	10月17日(土)	長浜ホール	045-786-4618
朗読「たちばな」 第9回発表会	10月25日(日)	金沢公会堂多目的室	045-785-4757
金沢俳句会 金沢区民俳句(吟行)大会	10月25日(日)	金沢自然公園内「ののほな館」	045-781-5044
金沢区日本舞踊連盟公演	11月1日(日)	金沢公会堂	080-2562-5888
金沢茶道会 茶道具展「茶道具のひとつとしての“炭”」	11月2日(月)～9日(月)	区役所1階展示スペース	045-782-9722
野口英世よこはま顕彰会 野口フェア パネル展「一号停留所保存」	11月14日(土)	長浜ホール ホワイエ	045-786-4618
箏アンサンブル金沢桐韻会 琴演奏会	11月15日(日)	金沢産業振興センターホール	045-781-1483
金沢区美術協会 第13回金沢区民公募美術展	11月19日(木)～24日(火)	能見台地区センター体育室	045-784-6548
金沢吹奏楽団 第2回BRASS HARMONY	11月22日(日)	金沢公会堂(実施の可能性を検討中)	090-7189-5298
らしく並木 歴史講座「感染症の過去・現在・将来(仮)」	11月28日(土)	金沢スポーツセンター研修室	945-791-7690
文化協会 文化講演会「岡倉天心」	12月6日(日)	金沢公会堂	045-785-6722
金沢区美術協会 第12回金沢区美術協会展(会員展)	1月28日(木)～2月6日(土)	金沢公会堂多目的室、区民ギャラリー	045-784-6548
金沢三曲会 研究会	2月11日(祝・木)	金沢公会堂	045-788-7806
文化協会 第2回かねさわ区民コンサート	2月27日(土)	金沢公会堂	045-771-8783
南国忌の会 南国忌(直木三十五文学忌)	3月21日(日)	長昌寺(富岡東)	045-771-6970

新型コロナの影響で、協会主催のかねさわ杯かるた大会、俳句短歌ポスト表彰式(秋季)、協会後援で多数の協会会員が参加の金沢区民文化祭、協会会員主催の金沢区民囲碁大会(秋季)、金沢区民短歌大会、金沢ふれあい文化祭、金沢文化芸術祭、金沢三曲会和楽器出前教室など、下期も多くの行事が中止または延期となっております。上記の予定表に掲載の行事につきましても中止や延期の可能性がございますので、ご参加の場合は問合先などに事前のご確認をお願い致します。

福島富士子(総合文化)



2歳の時に青い海と緑の丘が印象的な富岡に生まれました。今は並木に住んでいます。昨年「NPO 法人らしく並木」が当協会に入会、今年個人として入会しました。「らしく並木」はまちづくりと介護事業を手掛けて16年、水曜日はカフェもやっています。活動のかたわら、趣味のピアノで合唱団の伴奏や、介護施設などで歌の会を行ってきました。早く新型コロナが終息し、以前のように文化的な交流が楽しめる社会に戻ってほしいと願っています。

新会員紹介



千葉昌子(書道)
生まれは磯子区、現在港南区に住んでいます。金沢区は高校時代を過ごした思い出深い地。1990年代に区内の中学校に勤務していたことから「金沢区書道協会」に入会しました。流派を越え、会員が平等な立場で書に親しみ語らい、自由な書作を楽しんでいます。現在事務局長として、企画や事務仕事、展示会の準備等に追われています。金沢区観光協会のイベントや「街の先生」など、地域とのかかわりを絶やさず、書の楽しさを伝えていけたらと願っています。

退任会員表彰



当協会の表彰規程に基づき、令和元年度に辞任及び退任された橘川和夫前理事長、深津米男前事務局長、佐野雅子前理事、一之瀬焔次前監事の4役員に対し、令和2年6月15日(月)の運営委員会において表彰を審議し承認された。新型コロナの影響で集まっていた表彰式はできないため、7月13日(月)、その内のおひとり一之瀬前監事を六浦の自宅に訪ね、国吉理事長から表彰状と記念品が手渡された。一之瀬前監事は実に19年間に亘り、理事、監事を務められた。又専門の映像技術を生かされ当協会の主たる行事の写真撮影に協力され広報活動面でも貢献された。なお橘川、深津、佐野3氏は事情により表彰を辞退されました。

会報編集委員

今年度の会報編集は下記の体制で行います。

編集長	金間誠一
委員	阿部きみえ 阿部孝三 内園一廣 齊木美子* 塚本真砂子 千葉昌子* 福島富士子* 渡辺淳子 (*:新委員)

編集後記

今号の団体会員紹介は金沢華道会さん。次号はどの会員さんでしょうか? 新型コロナで会員さんの活動報告はゼロ。協会の活動2件を解説入りで、また会員状況を大きく掲載。日頃のご支援へ感謝を込めて法人の賛助会員さんの名称等のロゴをページ下端に掲載。新体制での紙面構成の工夫です。